

学位プログラム科目群(知能機能システム関連科目)

知能機能システム関連科目(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBLE500	知能機能システム特別研究A	3	4.0	1 - 3	通年	随時	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導するとともに、研究に必要な専門知識や倫理的知識を教授する。受講者は指導教員の指導に基づいてセミナーでの研究発表を行うと共に、異分野の教員から専門知識の教授や研究指導を受ける。これらを通じて、知の創成力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力、国際性を養う。	対面(オンライン併用型)
OBLE501	知能機能システム特別研究B	3	2.0	1 - 3	通年	随時	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導するとともに、研究に関する専門知識や倫理的知識を教授する。受講者は指導教員の指導に基づいてセミナーで研究成果を発表するか、高レベルの学術雑誌または国際会議で発表した論文の評価を受ける。これらを通じて、知の創成力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力、国際性を養う。	対面(オンライン併用型)
OBLE502	知能機能システム特別研究C	3	2.0	1 - 3	通年	随時	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導するとともに、研究に関する専門知識や倫理的知識を教授する。受講者は指導教員の指導に基づいて研究成果をまとめ、それが博士(工学)の学位論文の内容にふさわしいかどうかの評価を受ける。これらを通じて、知の創成力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力、国際性を養う。	対面(オンライン併用型)
OBLE503	知能機能システム学術雑誌論文発表演習I	6	2.0	1 - 3	通年	応談	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する学術論文の作成・投稿・改訂を指導する。受講者は、自らの研究成果を論文にまとめて査読付学術雑誌に投稿し、必要な改訂を行って論文が掲載されるようにする。この過程で、研究力や専門知識などを養う。	02CK006と同一。 対面(オンライン併用型) オンサイト/オンライン適宜実施
OBLE504	知能機能システム学術雑誌論文発表演習II	6	2.0	1 - 3	通年	応談	知能機能システム担当教員	知能機能システム学術雑誌論文発表演習Iの単位を取得した者を対象に、知能機能システムの各研究テーマに関する学術論文の作成・投稿・改訂を指導する。受講者は、自らの研究成果を論文にまとめて査読付学術雑誌に投稿し、必要な改訂を行って論文が掲載されるようにする。この過程で、研究力や専門知識などをさらに高める。	02CK007と同一。 対面(オンライン併用型)
OBLE505	知能機能システム国際会議論文発表演習	6	2.0	1 - 3	通年	応談	知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する国際会議論文の作成および発表を指導する。受講者は、自らの研究成果を英語論文にまとめて査読付国際会議に応募し、採択されて国際会議で発表できるようにする。この過程で、研究力や専門知識のほか、英語でのコミュニケーション能力や国際性などを養う。	02CK005と同一。 対面(オンライン併用型)
OBLE506	知能機能システムコラボラトリー演習III	6	1.0	1	通年	応談	知能機能システム担当教員	博士後期課程1年次生を対象に、異分野の研究室のゼミまたは研究活動に参加し、異なる専門分野における問題やその解決方法を学ぶ機会を提供する。これによって異分野の専門知識を習得するとともに、マネジメント能力(特に俯瞰力)を高め、自分の研究の深化にも役立てる。	対面(オンライン併用型)
OBLE507	知能機能システムコラボラトリー演習IV	6	1.0	2	通年	応談	知能機能システム担当教員	原則として博士後期課程2年次生を対象に、異分野の研究室のゼミまたは研究活動に参加し、異なる専門分野における問題やその解決方法を学ぶ機会を提供する。これによって異分野の専門知識を習得するとともに、マネジメント能力(特に俯瞰力)をより高め、自分の研究のさらなる深化にも役立てる。	対面(オンライン併用型)
OBLE508	知能機能システム計画調書作成演習III	6	1.0	1	通年	応談	海老原 格, 澁谷 長史, 前田 祐佳, 新里 高行, 河合 新, グエン チェトヴァン, プエンテス サンドラ ミレイナ, ハサン モダル, 家永 直人, 高谷 剛志	博士後期課程1年次生を対象に、知能機能システム分野の先端的な研究課題において、魅力的かつ説得力のある研究計画を立案し、日本学術振興会特別研究員DC2申請を指導する。日本学術振興会特別研究員DC1またはDC2採用者の場合は、科学研究費補助金の交付申請書の作成を指導する。これらを通じて、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力、研究力、専門知識を養う。	知能機能システム学位プログラム博士後期課程1年生のみ履修可。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBLE509	知能機能システム計画 調書作成演習Ⅳ	6	1.0	2	通年	応談	海老原 格, 澁谷 長史, 前田 祐佳, 新里 高行, 河合 新, ゲエン チェト ヴァン, ブエンテ ス サンドラ ミレ イナ, ハサン モダ ル, 家永 直人, 高 谷 剛志	博士後期課程2年次生を対象に、知能機能システム分野の先端的な研究課題において、魅力的かつ説得力のある研究計画の立案を指導する。日本学術振興会特別研究員DC1またはDC2採用者の場合は、科学研究費補助金の交付申請書の作成を指導する。それ以外の者に対しては、日本学術振興会特別研究員DC2申請を指導する。これらを通じて、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力、研究力、専門知識を養う。	知能機能システム学位プログラム博士後期課程2年生のみ履修可。 対面